



しらすぎだより 4月号

発行日：令和2年4月10日 発行元：しらすぎ荘広報委員会
住所：宇都宮市白沢町771 電話番号：028-673-8888
ホームページ：http://roken-shirasagi.jp



～利用者様の普段のご様子～



面会禁止について

新型コロナウイルス感染症の対応として当面の間ご家族様の面会を禁止とさせていただきます。

高齢者は重症化しやすいため細心の注意を払って対応していますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

ご家族の皆様も毎日の検温で発熱していないか確認し、うがい、手洗いを徹底しウイルスを体内に入れないようにして下さい。マスクやアルコールが手に入りにくい状況ですが、健康管理に注意してコロナウイルスに負けない様お過ごし下さい。

～新入職員紹介～



看護部 部長
永島 好江

皆様に満足していただけますよう、笑顔で明るくがんばります。よろしくお願いたします。



3階 看護師
磯町 俊仁

4月より入職しました。皆様のお役に立てる様、頑張ります。宜しくお願いします。



リハビリ課
作業療法士
矢野 永春

リハビリ職員として入職しました。利用者様の生活がよりよいものとなるよう、支援していきたいと思っております。

コラム ～花見の起源とは？～

もう春になり、桜も満開の季節となりました。しかし今般の新型コロナウイルス流行により、花見も自粛ムードになってしまっており、非常に残念です…(涙)さて、花見について自粛ムードの中、出来ない分その起源や歴史について調べてみました。

古くは奈良時代、中国より梅の花を観る文化が伝来し、当時の貴族が花見をするようになったのが起源とされているそうです。庶民に広まったのは江戸時代に入ってからと言われており、品種改良により数十種類にも及ぶ桜が誕生したようです。

今現在品種としては「ソメイヨシノ」が有名で4月～5月が見頃ですが、河津桜のような1月～3月に咲く早咲きの桜や、十月桜のように9月～12月に咲く遅咲きの桜もあるようです。年中を通して鑑賞できる桜、落ち着いたらゴザを敷いてみたらし団子をつまみながらゆっくり鑑賞したいものです。

～おまけ～ ここで私の好きな桜の短歌を紹介したいと思います。

「久方の 光のどけき 春の日に しづころなく 花の散るらむ」(紀友則・作)

(意味)日の光が溢れるのどかな春の日はゆったりと過ぎているのに、どうして桜の花だけが落ち着いた気持ちもなく、慌ただしく散ってってしまうのだろうか。

事務所からのお願い

毎月、各保険証の確認をさせていただいております。お支払い時などに、1階窓口へご提示いただきますようご協力をお願いいたします。

施設見学を希望される方へ

ご利用の申し込み、利用料金についてのお問い合わせや施設見学を希望される方は、支援相談員までお気軽にご連絡ください。